

出品されたマグロを採点する審査員  
 —長崎市筑後町、ホテルセントヒル長崎



## 県クロマグロ品評会

# 最優秀に五島漁協

県産養殖クロマグロの関係者ら30人が味や見た目を競う第7回「県ク

ロマグロ品評会」が7日、五島漁協のマグロは豊

長崎市内であり、最優秀 田通商の子会社「ツナド

賞に五島漁協(五島市)、リム「五島」が生産。中

優秀賞に長崎ファーム 村光辰所長代理は「ここ

(平戸市)がそれぞれ選

ばれた。

品質向上を目的に、県

まぐろ養殖協議会(財部

安則会長)と県漁連が主

催。8事業者(県内7、

県外1)が出品し、水産

い」と意欲を新たにす

いた。

審査委員長を務めた国

立研究開発法人水産研究

・教育機構の宮原正典理

事長は「どの業者のマグ

ロも見た目に差がなく、

味の差も近づいている。

実力が拮抗してきた」と

評価した。

県によると、県内では

43経営体がクロマグロを

養殖。生産量は2014

年に鹿児島県を抜いて日

本一になり、17年は65

58トで全国の4割を占

める。

(山里悠太郎)

「実力拮抗してきた」審査委員長